



ボランティア活動を通して、被災地域に暮らす人たちと交流を図り、その声に耳を傾けます。



私たちが見た被災地の現実を伝えたい。今でもボランティアの力を必要とする地域は多い。



震災の爪痕が残る現場にて、当時の様子や復興がどのように進んでいるのか聞かせてもらう。

メンバー募集のお知らせ

TVT では今後も継続的に活動を行います。学部や学年を問わず、多くの学生の参加を待っています。興味のある方は TVT (takushoku.tvt@gmail.com) まで連絡して下さい。国際学部のホームページにある「東日本大震災復興支援」のバナーをクリックすると、TVT の活動報告を見ることができます。

ホームページ公開中!

他団体のレポートを学生チャレンジ企画のホームページで公開しています。

その他の優秀企画

- 八王子の山車文化継承をサポートする官学連携による地域犯罪改善のための環境犯罪学的提言
- 拓殖大学から広がる新しい地域づくり～世界に飛び出す子どもたち～
- 私たちができる地域貢献
—小学校での英語活動を通して—

<http://gakuchalle.jp/>



TVT 活動日記

<第1回石巻市訪問 (5名)>	<第2回石巻市訪問 (8名)>
7月 2日～9日… 勉強会・事前研修	7月19日～23日… 勉強会・事前研修
7月13日 …… 出発	7月30日 …… 出発
7月14日 …… 宮城県石巻市到着 一般社団法人オープンジャパンと共に仮設住宅訪問。 お米の配布と交流 石巻災害復興支援協議会を訪問。街の案内と現状を聞く	7月31日 …… 石巻市到着 一般社団法人オープンジャパンとボランティア活動。地元の祭りに参加
7月15日 …… 解散	8月 1日 …… ボランティア活動参加。石巻市の視察
7月23日 …… 国際学部棟にて報告会	8月 2日 …… 解散
	10月19日～21日… 紅陵祭 活動報告予定

被災地域で活動し学んだことを
多くの人に伝え、考えてもらいたい

「震災から一年半が経過しました。学生ボランティアができる単純な力は仕事は少なくなり、TVTではひとり暮らしのお年寄りや、仮設住宅で暮らす人への訪問ボランティアも行っていきます。仮設住宅では震災や津波によって家や家族を失った人た

ちが今も暮らしています。これからはそのような人たちに寄り添う、心のケアが何よりも大切と言われています」(小山陽菜子さん)

「今回の学生チャレンジでは「スタディーツアー」として、7月と8月に2度、宮城県石巻市を訪ねました。ボランティア活動と合わせて、現地での活動を続ける一般社団法人オープンジャパンの人や、被災地で暮らす人たちの話を聞き、私たちが感じて、感じた被災地の現状を多くの人に伝えることが目的です。現場では仮設住宅を訪問し、お米の配布や住民の人たちとの交流を図りながら、石巻災害復興支援協議会の協力で被災地の現状を案内してもらいました。被災地では関心が薄れることを心配し

ています。そして、地元のものを食べて、買って、見て行って欲しいと願っています。TVTでは今回の「スタディーツアー」で学んだことと、これまでの活動を交えて、紅陵祭で被災地の現状をパネル展示

します。一人でも多くの人に被災地の現状を知ってもらい、考えるきっかけとなることを願っています」(石川栄貴さん)

Takushoku Volunteer Team 1246
被災地復興に向けての
スタディーツアー



TVT (Takushoku Volunteer Team) の石川栄貴さん(左)と小山陽菜子さん(右)は共に国際学部の2年生。被災地のために何かできることをしたいという気持ちを共有する。